

患者さまへ

「多摩地域における特発性冠動脈解離の発症率、治療戦略、予後に関する多施設後向きコホートレジストリ研究：Tama SCAD registry」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2014年1月1日から2023年12月31日の間に、東京西徳洲会病院 循環器内科で、急性冠症候群の疑いもしくは急性冠症候群の鑑別目的で冠動脈造影を受けた患者さまで①～③のいずれかに該当する方 ①特発性冠動脈解離(SCAD)と診断された20歳以上の患者さま ②20歳以上、60歳以下の女性で、動脈硬化性の急性冠症候群(急性心筋梗塞と不安定狭心症)と診断された患者さま ③20歳以上、60歳以下の女性で、たこつぼ症候群と診断された患者さま
2 研究目的・方法	【目的】 日本人のSCADの発症率、治療、経過を明らかにすること。また、SCADの多くを占める60歳以下の女性の方においては、SCADの鑑別疾患である動脈硬化性の急性冠症候群およびたこつぼ症候群の患者さまと、SCAD患者さまの患者背景、冠動脈所見・治療、入院中の経過、長期経過を比較すること。 【方法】 病院で保管・管理している既存のカルテ情報から収集します。この研究のために新たなデータの収集は行いません。 研究の期間：施設院長許可後(2025年12月予定)～2030年3月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報：年齢、性別、検査所見、既往歴、発症の誘因イベントとSCADに関連した疾患、入院中の治療、入院中および退院後の経過 等
5 研究実施体制	【情報の提供を受ける機関】 東京都立多摩総合医療センター 循環器内科 磯貝俊明(代表機関) 東京都立病院機構研究推進センター 森川和彦(データセンター) 【情報を提供する機関】(共同研究機関) 榊原記念財団附属榊原記念病院 七里守

	<p>独立行政法人国立病院機構災害医療センター 清水茂雄 市立青梅総合医療センター 栗原顕 武蔵野赤十字病院 足利貴志 杏林大学医学部付属病院 小山幸平 日本医科大学多摩永山病院 小谷英太郎 日野市立病院 中村岩男 町田市民病院 木村峻輔 東海大学医学部付属八王子病院 吉町文暢 東京慈恵会医科大学附属第三病院 吉田律 東京西徳洲会病院 阿多智之 東京都立多摩北部医療センター 亀山欽一 東京医科大学八王子医療センター 久保隆史 公立昭和病院 大森康歳 立川相互病院 大塚信一郎 府中恵仁会病院 上林拓男</p> <p>【外部への情報の提供】 提供を行なう機関の長:URL:https://www.tokyonishi-hp.or.jp/ データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、提供する機関の個人情報管理者が保管・管理します。</p>
6 個人情報の取扱い	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
7 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p> <p>【研究代表者】 磯貝俊明 東京都立多摩総合医療センター 循環器内科 〒183-8524 東京都府中市武蔵台二丁目 8-29 TEL 042-323-5111(代表)</p> <p>【研究責任者】 阿多 智之 東京西徳洲会病院 循環器内科 〒196-0003 東京都昭島市松原町三丁目 1-1 TEL 042-500-4433(代表)</p>